

INFORMATION

No. 2412-50

容器変更に関するお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、顆粒球エラスターゼ用容器(弊社容器番号:02)(新容器番号:L09)に付属されている綿棒が販売中止のため、別メーカーの綿棒に順次変更させていただくことになりましたので、ご案内申し上げます。

なお、この変更に伴い、検体採取方法及び抽出方法を一部変更させていただきます。

先生方には大変ご迷惑をお掛けいたしますが、何卒ご了承のほどよろしくお願い申し上げます。

謹白

記

■対象容器と代替品

	新	旧(現行品)
◇容器番号 02 (新容器番号:L09) 顆粒球エラスターゼ用容器	 <p>変更</p>	

※従来の綿棒もそのまま使用できます。

(裏面に続く)

■変更日 在庫状況に応じて順次、切替えさせていただきます。

株式会社 武蔵臨床検査所

*お問い合わせは当社または担当者までお願いいたします。

〒358-0013 埼玉県入間市上藤沢309-8

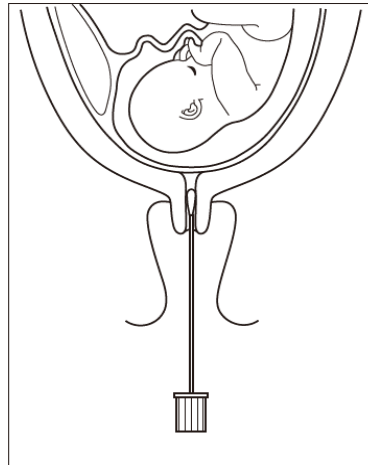
TEL 04-2964-2621 FAX 04-2964-6659

URL <http://www.e-musashi.co.jp>

■変更後の検体採取方法及び抽出方法(総合検査案内 N-9)

・検体採取方法(専用容器:O2(新容器番号:L09))

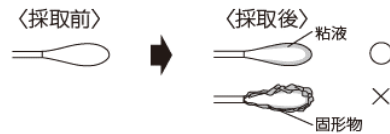
1. 子宮腔部の粘液を綿球で丁寧に拭い取ります。
2. 綿棒を子宮頸管内腔に挿入します。
3. 綿棒をゆっくりと2回転させ、頸管粘液(滲出液)を採取します。



正しい採取部位

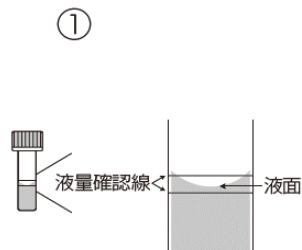
注意事項

- (1) 子宮頸管部より採取してください。
- (2) 検体採取は腔部洗浄前に行ってください。
- (3) 綿棒が外子宮口周辺の分泌物や粘液に接触しないようにしてください。綿棒の先が初めて接触する部分が頸管内腔であるように挿入してください。
- (4) 綿棒1回転あたり約5秒をかけ、自然に粘液(滲出液)をしみ込ませるようにしてください。少量の固形物が付着した場合には、ピンセット等で取り除いてください。又、大量の固形物が付着した場合には、検体採取をやり直してください。



- (5) 採取した検体は15分以内に抽出操作を行ってください。

・抽出方法



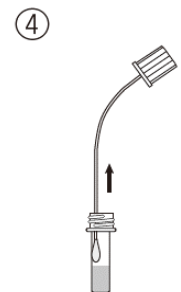
抽出液の液面が、抽出容器の液量確認線の間にあることを確認します。なお、抽出液がキャップ中栓に付着している場合があるので、振り落とした後に液面の確認を行ってください。



頸管粘液(滲出液)を採取した綿棒を浸けて、2~3分間放置します。



綿棒を20~30回細かく上下させて検体を抽出します。



検体抽出液がしみ込んだ綿棒を、抽出容器壁面に軽く押しつけて、抽出液が滴らない程度にした後、取り除きます。



フィルターをセットします。



検体抽出液を検体保存容器へ濾過します。この時の加圧は1回のみとし、5~7滴(約300 μ L)を分取します。必要量を得られない場合は検体採取からやり直してください。



検体保存容器にキャップをし、容器ラベルを貼って保存します。凍結にてご提出ください。